

貸借対照表

2023年3月31日現在

(単位：千円)

科目		科目	
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	735,862	流動負債	193,700
現金及び預金	663,039	買掛金	7,494
貯蔵品	16,924	未払金	15,664
前渡金	7,260	1年以内返済の転換型 新株予約権付社債	165,000
前払費用	26,060	未払費用	4,164
未収消費税等	21,684	未払法人税等	290
その他	894	預り金	1,086
		負債合計	193,700
		(純資産の部)	
		株主資本	542,162
		資本金	10,000
		資本剰余金	819,582
		資本準備金	702,100
		その他資本剰余金	117,482
		利益剰余金	△ 287,419
		その他利益剰余金	△ 287,419
		繰越利益剰余金	△ 287,419
		純資産合計	542,162
資産合計	735,862	負債・純資産合計	735,862

当期純損失：

△ 287,419 千円

個別注記表

(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品……………先入先出法(貸借対照表価額は収益性の低下に寄る簿価切り下げの方法により算定)

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産……………定率法(ただし、建物については定額法)

—主な耐用年数—

建物……………3年

工具器具備品……………4年

無形固定資産……………定額法

—主な耐用年数—

特許権……………8年

(3) 収益及び費用の計上基準

顧客との契約につき、下記の5ステップアプローチに基づき、収益を認識しております。

ステップ1：顧客との契約を識別する

ステップ2：契約における履行義務を識別する

ステップ3：取引価格を算定する

ステップ4：取引価格を契約における履行義務に配分する

ステップ5：履行義務を充足した時点で(又は充足するに応じて)収益を認識する

(4) 繰延資産の処理方法

株式交付費……………支出時に全額費用として処理しております。

社債発行費……………支出時に全額費用として処理しております。